

令和4年度 九州・沖縄地区国立青少年教育施設 企画指導専門職研修会

- 1 趣 旨 国や地域のニーズ、機構の役割を踏まえて、業務を進める上での課題解決に向けた手法等の知識や技能を高め、意識を醸成するとともに、施設職員が相互に情報交換や協議を通して施設間のネットワークの強化を図る。
- 2 期 日 令和5年1月17日（火）～18日（水）
- 3 参加対象 国立青少年教育施設の企画指導専門職、企画指導専門職付職員、施設所長が推薦する者
- 4 募集定員 20人程度（最少催行人員8人）
- 5 参加者 4施設20人
- 6 指導者 講義① 国立大学法人鹿屋体育大学 特任専門員 西 みやび氏
講義② 国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 研究員 大山 宏氏
講義③ 鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター 所長 川畑 清郎氏
- 7 日 程



1月17日（火）	1月18日（水）
13:30 受付	7:00 起床
13:50 開会行事	7:30 朝食
14:10 講義①（80分） 効果的な広報活動について	8:45 演習①（15分） 宿泊棟部屋点検（退所点検）
15:30 休憩・準備	9:05 演習②（80分） 調整プログラム作成の工夫
15:45 講義②（90分） 事業の評価について	10:25 休憩・準備
17:15 集合写真撮影	10:40 講義③（60分） 教育事業の企画立案の考え方
17:20 施設参観, 荷物移動, 入浴	11:40 休憩・準備
18:10 夕食	11:50 閉会行事
20:00 自由交歓	12:00 解散
22:00 就寝	

- 8 事業運営上の配慮
- 各施設から研修内容の要望を募ることで、ニーズにあった講義・演習を企画した。
 - 演習時にグループ討議を入れて、職員相互が自由に情報交換できる時間を設定した。
 - 新型コロナウイルス感染症防止対策として、学習室内の換気、マスク着用、手指消毒等の徹底を依頼した。
- 9 参加者の感想
- 西先生の研修は、なかなか出会うことのない方だったので貴重な体験となりました。
 - 初めて参加して、広報・評価・調プロ等、いろいろ勉強させていただき、今後に生かせる内容でした。もっともっと学びたいと思いました。
 - 他施設の人たちと交流でき、情報交換等大変よかった。もっとたくさんの参加者がほしいです。
- 10 成果
- 専門の外部講師を招聘することで、参加者のスキルアップを図ることができた。
 - 機構本部の青少年教育研修センター研究員とのパイプができたことで、今後の教育事業等についてアドバイスを得られるようになった。
 - 夕食時の懇親会で、親睦が深まり、各施設間のネットワークを作ることができた。